

## 関西支部シニア会第16期（2021年度）活動計画

### 1. 運営基本方針（シニア会活動の理念）

- (1) 会員相互の親睦と情報交流を促進する。
  - (2) シニアの経験・技術を活用し、教育機関、学生、企業、技術者を支援することで社会貢献する。
  - (3) 日本機械学会関西支部の活動に協力し、その発展に寄与する。
- これらの活動を通じて、会員のシニアライフ(QOL)の充実と社会への貢献を目指す。

### 2. 2021年度運営方針（運営基本方針に対応して）

- (1) 会員相互の親睦のため、情報交流サロンを開催する。個別クラブの新設を検討する。併せて、シニアの技術・知見の伝承を図る。
  - (2) 社会貢献として、大学・高専への講師の紹介、学生との交流、企業に対する技術・経営支援を実施する。
  - (3) 関西支部を補佐するために、シニア会員と共にシニア会諸行事を盛り上げ、会員の増強を図る。また、シニア会の組織・性格など見直していく。
- (追記) 本年度は、コロナ禍に対応した機械学会本部の方針にしたがい、2022年3月末までは、諸行事をWebによるリモート方式で実施する。ただし、当初計画していた特徴ある技術を有する企業見学会、機械・産業遺産ツアー、研修キャラバン、学生会との交流、小学生児童向けの理科工作教室は、下期からの方針変更を見据えて、下期実施を計画しておく。

### 3. 2021年度活動計画

#### 3.1 シニア会総会・運営委員会の開催

- ①シニア会総会；年度の活動結果ならびに次年度の計画について報告し決定する。  
付帯行事として講演会、懇親会を開催する。
  - ・2022年3月に第16期総会を開催する。
  - ・第16期総会の決定に基づき、第17期の活動を開始する。

#### ②運営委員会；

- ・2ヶ月に1回を目途に運営委員会を開催する。必要があれば臨時運営委員会を開催する。

(追記) 運営委員会はリモート方式で実施する。ただし、下期からの方針変更を見据えて、総会、運営委員会の通常での下期実施を計画しておく。

#### 3.2 社会貢献活動の継続

##### ①大学・高専への非常勤講師の紹介

- ・大学・高専へ次年度の非常勤講師の推薦要請をもらうよう、8月末頃申し入れる。
- ・非常勤講師依頼が来れば、要件にしたがってシニア会会員から応募者を募る。
- ・非常勤講師紹介の実績を関西支部会員へ積極的にPRして、シニア会員増強を図る。

##### ②関西支部、学生会に対する支援

- ・学生会との交流を兼ね、シニアによる講演や学生とのフリートークを行う「シニア会と学生会との交流会」(第15回)を10月下旬頃に開催する。Webによるリモート方式での開催を検討するが、時期に応じ通常の開催も見据えておく。
- ・支部学生会卒研発表講演会へのコメンテータ派遣に努める。
- ・支部の要請に応じて講習会や講演会への講師の派遣に努める。

##### ③理科工作教室の実施

- ・計画していた一般教室16会場30教室、大阪市特別授業(テーマ4校)の開催企画を中断するが、下期からの本部方針変更も見据えて、下期実施を計画しておく。
- ・2022年度以降について、メンバーの高齢化への対応策を検討する。

##### ④企業に対する技術・経営支援

- ・個別企業からの要請に基づき、シニアの知見・経験を活かせるシニア会員を紹介する。
- ・材力・強度および振動・音響の各分野については、準備したカリキュラムにしたがって、企業内技術者教育の講師を派遣する。
- ・熱・流体、トライボロジー、機械加工などの分野については、本年度中に講師、カリキュラムを準備する。
- ・コロナ禍において、実行できる形態を要請企業と協議して実施する。
- ・企業の設計・製造部門の技術者を対象として、機械工学の広範囲の技術を学ぶための講習会を、関西支部とともに実施することを引き続き検討する。

#### ⑤技術伝承

- ・上記支援活動は技術伝承の一環であると考えるが、加えて、シニア会諸行事の講演資料などを精査・選択し、Webの閲覧資料を蓄積する。

### 3.3 会員交流活動

#### ①情報交流サロン

- ・年3回程度（5月, 8月, 12月）開催し、シニア会員の有する技術を提供し相互の懇親を深める。
- ・会員から順次話題提供をお願いする。
- ・Webによるリモート方式で実施する。

#### ②特徴ある技術を有する企業見学会、機械・産業遺産ツアー、研修キャラバンは実施しない。

#### ③自由に参加できる同好会（個別クラブ）の新設を検討する。

### 3.4 シニア会活動の活性化

- ・関西支部の中でのシニア会活動の理解を深めるための情報提供の在り方を検討する。
- ・関西支部にとっても魅力的な企画を立案する。
- ・シニア会全体にわたって、シニア会がより良き組織となるよう検討し、活動の活性化を図る。
- ・運営委員、シニア会員の人的ネットワークなどを通じて、引き続き会員の増強に努める。
- ・メールの交換や、Webによるリモート方式の会議で議論する。
- ・全国の8支部シニア会の交流を目的に、学会本部に「支部シニア会連絡会議」が設けられ、会長が委員として出席する。各支部の実情や問題点を紹介し、活性化に資する。

以上